

令和5年度

事業報告及び決算

令和5年4月1日

）

令和6年3月31日

公益財団法人高知市文化振興事業団

目 次

令和5年度 事業報告

I 法人の概況

1 設立年月日	1
2 定款に定める目的	1
3 定款に定める事業内容	1
4 主たる事務所の状況	1
5 所管官庁に関する事項	1
6 理事会・評議員会等に関する事項	1
7 役員等に関する事項	2
8 職員に関する事項	3
9 会員の状況	3

II 事業の状況

1 令和5年度事業執行基本方針	3
2 事業実施に係る重要な契約に関する事項	5
3 自主文化事業	5
4 高知市文化祭事業（高知市委託事業）	9
5 中央公民館事業（高知市委託事業）	10
6 横山隆一記念まんが館事業（高知市委託事業）	12
7 文化プラザリニューアルオープン記念事業	16

令和5年度 決算関係書類

1 財務諸表	
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書（正味財産増減計算書）	19
(3) 損益計算書（正味財産増減計算書）内訳表	21
2 財務諸表に対する注記	23
3 附属明細書	25
4 財産目録	26

監査報告書

令和5年度事業報告

I 法人の概況

1 設立年月日

昭和59年5月30日（平成24年4月1日に公益財団法人に移行）

2 定款に定める目的

市民の文化活動の振興並びに市民の幅広い学習活動や学習成果の活用等に資する事業を行い、もって豊かな市民文化の創造と文化的な都市づくりに寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 市民の文化活動の振興に資する展覧会、演奏会、発表会、講演会等の開催
- (2) 学術研究の助成及び出版物の発行
- (3) 美術品・文化財等の収集、保存
- (4) 市民の自主的文化活動の助成
- (5) 市民文化の振興に関する調査研究
- (6) 高知市の委託を受けて行う市民の生涯学習活動の振興に関する事業の実施
- (7) その他定款に定める目的を達成するために必要な事業

4 主たる事務所の状況

高知市九反田2番1号 高知市文化プラザかるぼーと8階

5 所管官庁に関する事項（設立許可及び指導監督に関する権限を有する所管官庁名）

高知県文化生活スポーツ部文化国際課（令和6年3月31日現在）

6 理事会・評議員会等に関する事項

理事会・評議員会の開催状況等

議決年月日	区分	議決事項
5. 5. 25	第1回理事会	(第1号議案)令和4年度事業報告及び決算について (第2号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団定時評議員会の開催について (第3号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団個人情報取扱規程制定議案 (第4号議案)令和5年度公益財団法人高知市文化振興事業団事業計画の一部変更に関する議案 ・ 自主文化事業「劇場って楽しい!高知プロジェクト」 中止 (第5号議案)令和5年度公益財団法人高知市文化振興事業団収支予算書の補正に関する議案 (報告事項) 特定個人情報等の取扱い状況に関する監査報告
5. 6. 4	理事会決議事項のみなし決議	(提案事項)理事会の決議事項である令和5年度公益財団法人高知市文化振興事業団定時評議員会決議事項第4号議案の上程について
5. 6. 14	定時評議員会	(第1号議案)令和4年度決算について(報告事項 令和4年度事業報告) (第2号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団理事の選任について (第3号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団監事の選任について (第4号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団評議員の選任について
5. 12. 6	第2回理事会	(第1号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団職員の定年等に関する規程の制定議案 (第2号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団職員の服務、休日、休暇等就業に

		関する規程の一部を改正する議案 (第3号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団職員給与規程の一部を改正する議案 (第4号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団処務規程の一部を改正する議案 (第5号議案)公益財団法人高知市文化振興事業団職員退職手当規程の一部を改正する議案 (報告事項)令和5年度職務執行状況報告
5. 12. 22	理事会決議事項のみなし決議	(提案事項1)公益財団法人高知市文化振興事業団職員給与規程の一部を改正する規程案 (提案事項2)公益財団法人高知市文化振興事業団補助職員の採用等の特例等に関する規程の一部を改正する規程案 (提案事項3)公益財団法人高知市文化振興事業団常勤役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程案
6. 3. 6	第3回理事会	(第1号議案)令和6年度事業計画及び収支予算 (第2号議案)役員等賠償責任保険契約に係る議案

※ みなし決議の項の「議決年月日」は、決議があったものとみなされた日

7 役員等に関する事項 (令和6年3月31日現在)

(1) 役員

役職名	氏名	就任日	常勤・非常勤	現職等
理事長	脇口 宏	H30. 6. 12	非常勤	高知大学医学部特任教授 高知地域医療支援センター長
副理事長	中澤 慎二	R 3. 7. 1	〃	前高知市副市長
専務理事	藤原 哲	R 3. 7. 1	常勤	公益財団法人高知市文化振興事業団専務理事
理事	石原文子	H30. 6. 12	非常勤	高知商工会議所女性会監事
〃	内田 純一	H30. 6. 12	〃	高知大学地域協働教育学部門教授
〃	海老塚 和秀	H24. 4. 1	〃	竹林寺住職
〃	林 充	R 5. 6. 14	〃	高知市総務部長
〃	三谷 英子	H30. 6. 12	〃	学校法人三谷学園 RKC調理製菓専門学校理事・常任顧問
〃	山岡 良仁	H28. 6. 28	〃	高知県美術家協会理事
監事	植田 浩二	R 5. 6. 14	〃	高知市教育次長
〃	吉田 佳史	R 3. 10. 7	〃	(株)四国銀行地域振興部長

(2) 評議員

氏名	就任日	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
沖田 良二	R 5. 6. 14	非常勤	高知県経営者協会専務理事
鎌倉 昭浩	R 3. 7. 1	〃	公益財団法人高知県文化財団理事長
櫻井 克年	H30. 6. 12	〃	高知大学学長
中平 雅彦	R 2. 6. 8	〃	(株)高知新聞社代表取締役社長
藤田 徹也	R 3. 7. 1	〃	(株)テレビ高知代表取締役社長
藤原 潤子	H30. 6. 12	〃	藤原潤子社会保険労務士事務所
古谷 純代	H28. 6. 28	〃	高知サンライズホテル専務取締役
松岡 さゆり	H28. 6. 28	〃	(株)技研製作所監査役
松下 整	R 4. 6. 27	〃	高知市教育長

(3) 顧問

氏名	就任日	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
森本忠彦	H28. 6. 29	非常勤	元高知市文化振興事業団副理事長

8 職員に関する事項 (令和6年3月31日現在)

所属	氏名等
事務局	事務局長 池畠正敏
企画事業課	課長 吉村知恵 副参事 伊勢脇生花 課長補佐2人 係長2人 職員8人 補助職員4人 計17人 (まんが館副館長兼務の副参事は人数に含まず)
横山隆一記念まんが館	館長 田所菜穂子 副館長(兼)1人 職員3人 補助職員2人 計7人
合計	25人 (職員19人(うち高知市から派遣1人) 補助職員6人 研修派遣職員1人(地域創造へ))

9 会員の状況 (令和6年3月31日現在)

種類	人数	会費収入
サポーターズクラブ Culチャーず	44人	132,000円

※ 現行の賛助会員制度は令和5年度をもって廃止。次年度からは、より広く多くの方に芸術・文化に親しみを持っていただける広報ツールとして、LINE公式アカウントの登録者を募り、情報発信する。

II 事業の状況

1 令和5年度事業執行基本方針

高知市文化振興事業団は、昭和59年の設立以来、市民による芸術・文化の創造活動の日常化や文化の時代にふさわしい高知の文化活動の活性化を目指し、高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。

高知市文化プラザかるぼーと開館以降は、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより、市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに、高知のまんが文化振興の推進役として重要な役割も担っている。

この間、芸術・文化を取り巻く状況が大きく変化したことから、平成26年に事業団設立30周年を迎えたことを契機として、新たな事業推進指針を定め、「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を基本理念と定めた。

令和5年度はこの基本理念を踏まえた上で、事業団設立40周年を前に、事業団に求められる役割を、協働、連携、社会包摂といったキーワードから考えていき、次年度以降へと繋がる端緒として、高知市文化振興ビジョンとの整合性を図りつつ、次の基本方針に基づいて自主文化事業、文化祭事業、中央公民館事業及びまんが館事業の効果的な展開を図るものとする。また、文化プラザ長寿命化整備事業のための休館からの再開を記念する事業を、高知市からの補助金により実施する。

【令和5年度の基本方針】

1 自主文化事業

事業推進指針に定めた基本理念である「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を実現するため、4つの目標(5～7P参照)に沿った事業を実施する。

各事業の実施にあたっては、高知市文化振興ビジョンとの整合を取りながら、文化による共生社会の実現のための取組を推進するとともに、これまで事業団が培ってきたネットワークを活かし、市民・行政・民間団体、そして教育や福祉との協働・連携を積極的に進めていく。

- 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」
- 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」
- 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」
- 目標4 すそ野を拓げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

2 文化祭事業

各種文化団体や市民による文化活動を支援することで、幅広い世代の市民に向けた作品発表や公演機会を提供する。例年4月に開催していた開幕行事は、開催時期をかるぽーと大ホールのリニューアルオープン後の10月に繰り下げ、4年ぶりに開催する。新型コロナウイルス感染症による活動制限などの困難な状況を経て、日常的な芸術文化の創造・鑑賞の機会を再構築し、高知市民の文化祭の一層の充実と振興を図る。

3 中央公民館事業

超高齢社会においても持続可能な事業運営を目指して、休館中に検討してきた事業の見直しに実際に着手し、多様なニーズに対応した生涯学習活動の場を提供する。引き続き感染症対策に努め、市民が安心して参加できる魅力ある講座や科目を企画、実施する。また、市民による自発的な公民館活動に繋げるための働きかけに取り組み、地域の活性化に結び付けていく。

各種学習室の貸出については、インターネット上での申込受付を本格的に取り入れるなど、引き続き稼働率の向上に取り組む。

4 まんが館事業

令和5年4月に改正博物館法が施行となることから、これまでまんが館の「事業内容」として掲げてきた、調査研究・収集保存・展示・情報提供・交流普及活動に加えて、法改正に沿う形で、資料のデジタルアーカイブ化とオンライン公開や、他施設、他分野などとの共同事業の活動に取り組んでいく。また、努力義務である職員の専門研修受講にも努める。

現在、横山隆一記念まんが館は、博物館法上の「博物館相当施設」であるが、法改正後は「指定施設」へと名称が変更される。5年間の経過措置期間中に再登録作業を行い、安定した博物館運営を目指す。

5 文化プラザリニューアルオープン記念事業

リニューアルオープン及び開館20周年記念事業として実施する市民ミュージカル等3事業を実施する。そのほか委託事業などでも、高知市文化プラザかるぽーとリニューアルオープン記念を冠し、新しくなった高知市文化プラザかるぽーとを市民に積極的にPRしていく。

2 事業実施に係る重要な契約に関する事項（1件500万円以上の契約）

No.	契約年月日	相手方	契約金額	契約期間	契約内容
1	R 5. 4. 1	高知市長	45,574,000円	R 5. 4. 1～R 6. 3. 31	高知市立中央公民館及び横山隆一記念まんが館運営業務委託
2	R 5. 4. 1	高知市長	7,098,000円	R 5. 4. 1～R 6. 3. 31	高知市文化祭事業委託
3	R 5. 4. 1	高知市長	56,713,000円	R 5. 4. 1～R 6. 3. 31	高知市立中央公民館事業委託
4	R 5. 4. 1	高知市長	48,496,000円	R 5. 4. 1～R 6. 3. 31	横山隆一記念まんが館事業委託
5	R 5. 4. 1	高知市文化祭執行委員会	6,660,000円	R 5. 4. 1～R 6. 3. 31	高知市文化祭事業業務委託
6	R 5. 4. 1	伊予鉄総合企画(株)高知営業所	※契約額 47,190,000円 (うち令和5年度契約額9,438,000円)	R 5. 4. 1～R10. 3. 31	横山隆一記念まんが館受付案内等業務委託
7	R 4. 3. 1	(株)パストラーレ	9,174,000円 (うち令和5年度契約額1,834,800円)	R 4. 3. 1～R 9. 2. 28	施設予約システム クラウドサービス利用契約
8	R 5. 4. 5	(一社)ジャパン・シンフォニック・ウインズ	5,072,000円	R 5. 4. 5～R 5. 7. 1	「SIENA WIND ORCHESTRA 高知公演～プラスの祭典 シエナBESTコンサート～」公演業務委託

3 自主文化事業

高知市文化振興ビジョンの「文化振興の具体的な進め方」との相関性を図りながら、事業推進指針に掲げた基本理念を実現するための4つの目標に基づいた事業を実施した。

(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

高知の表現者や実行委員会等との協働事業を実施することにより、世代や社会的立場を超えた様々な形による文化への参画の機会を設けた。

事業名	会場	期日	入場者	備考
とさっ子タウン2023	ギャラリー	8.19(土)・20(日)	899人	とさっ子タウン実行委員会等3団体と共同主催
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2023 (20th)	市内10か所	9.16(土)・17(日)	約5,000人	主催：高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2023実行委員会
ラ・ラ・ラ春まつり	市内2か所	6. 3. 2(土)・3(日)	約1,500人	
「合唱組曲 四万十川」コンサート準備事業〈練習〉				協力：高知県合唱連盟
体験ワークショップ	中央公民館	9.28(木)・10.14(土)	54人	
合唱団練習		10.21(土)～	138人	合唱団員数
合計	事業数	3	7,591人	

《事業概要》

とさっ子タウン2023

小学4年生から中学生までの子どもが創る「仮想のまち」で、仕事や遊び、学びなど様々な体験を通じて社会の仕組みを知り、子どもが考え、活動し、実際のまちづくり・人づくりにも繋がることを目的として毎年実施している。事業団は実行委員会に参画。主に会場利用に関して運営に協力した。

主催：「とさっ子タウン」実行委員会・認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議
・高知市市民活動サポートセンター

高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2023 (20th)

令和2年・3年はコロナ禍で、令和4年には台風接近のため中止を余儀なくされ、本年度、4年ぶりとなる9月開催で節目の第20回を迎えた。通常の音楽祭に加え、前日の

9月16日(土)に、NEXT GENERATION'S DAYと題し、高校生バンドを中心とした22組のバンドが中央公園で演奏会を行った。令和6年3月には、観光イベント「土佐のおきやく2024」の中で「ラ・ラ・ラ春まつり」を開催し、高知の観光振興の一翼を担った。事業団は実行委員会の一員として事務局業務を務めた。

主催：高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2023実行委員会

「合唱組曲 四万十川」コンサート準備事業〈練習〉

令和6年10月にかかるぽーと大ホールで開催予定の「合唱組曲 四万十川」コンサートの出演者を公募し、138人の市民合唱団を結成。10月の結団式以降、1か月に1度のペースで練習を行った。団員募集期間中に無料体験ワークショップを実施し、応募者の増加に繋がった。

協力：高知県合唱連盟

(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

高知で紡がれてきた有形、無形の文化資産を継承するとともに、高知ならではの文化を創造し発信するため、地域の表現者と連携し創造活動を支援する事業等。

事業名	会場	期日	入場者	備考
第7回高知市民ミュージカル 「Gift of Life ～にぎやかな植物園～」	項目7 文化プラザリニューアルオープン記念事業			
若手美術作家支援事業 Kochi Art Messe Vol.5	ギャラリー	6. 1. 25(木)～28(日)	384人	出品32人, 74点
第33回高知出版学術賞				
推薦募集	—	締切 6. 1. 31(水)	—	推薦12件/11点
表彰式	中央公民館	6. 3. 20(水・祝)	—	
アーティストバンク	—	通年	—	
合計	事業数	4	384人	

《事業概要》

若手美術作家支援事業「Kochi Art Messe Vol. 5」

若手作家の公募作品の展示と販売を行う美術の「見本市」に見立てた企画展。若手作家の意欲を高め成長に繋げるとともに、美術ファンを増やす取組として、高知の美術活性化を目指した。次年度以降は、新たな若手美術作家支援事業を行う。

第33回高知出版学術賞

高知における学術研究を振興し県勢の進展に資することを目的とし、平成2年に創設し、平成26年からは、高知出版学術賞特別賞を設けている。当該年における最も優れた学術出版を顕彰する。12件の推薦があり、審査の結果、11点の図書の中から出版学術賞2点と同特別賞1点が決定した。

賞	書名	著者	発行
出版学術賞	『大江卓の研究 在野・辺境・底辺を目指した生涯』	大西 比呂志 著	芙蓉書房出版刊
	『体罰と日本野球 歴史からの検証』	中村 哲也 著	岩波書店刊
特別賞	『牧野富太郎の植物学』	田中 伸幸 著	NHK出版刊

アーティストバンク

地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情報などを集約し、事業団のホームページで情報発信している。

(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

文化に親しむきっかけづくりとしての事業や、新たな鑑賞者の育成、芸術文化活動の担い手を育てるための人材育成事業。

事業名		会場	期日	入場者	備考
人形劇団むすび座 「チト みどりのゆびをもつ少年」		大ホール	9.22(金)	354人	共催：高知市子ども劇場 助成：文化庁
関連企画	舞台を飾る花の絵を描こう！	—	—	—	
	平和についてのお話しの会	高知こどもの図書館	8.27(日)	20人	
かるぽーと子ども音楽会		大ホール	6.23(金祝)	1,035人	助成：スポーツ安全協会
第12回高知の音楽活性化事業 「Quintet H コンサート」		大ホール	6.3.8(金)	570人	助成：地域創造
アウトリーチ	義務教育学校行川学園	6.3.6(水)	50人		
	養護老人ホーム福寿園	6.3.6(水)	65人		
	春野東小学校	6.3.7(木)	56人		
	高知小津高校吹奏楽部	6.3.7(木)	30人		
合計		事業数	3	2,180人	

《事業概要》

人形劇団むすび座「チト みどりのゆびをもつ少年」

高知市子ども劇場との共催で、人形劇団むすび座の設立50周年の記念に制作された作品を上演した。命の尊さと平和への願いを描いたファンタジーで、公演以外にも関連企画を実施して作品への理解を深めた。

共催：NPO法人高知市子ども劇場・人形劇団むすび座

助成：文化庁 文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等活性化ネットワーク強化事業
(劇場・音楽堂等間ネットワーク強化) 独立行政法人日本芸術文化振興会

協力：NPO法人高知こどもの図書館

かるぽーと子ども音楽会

0歳から入場でき子どもから大人まで楽しめるコンサートを、地元の音楽団体(鏡野吹奏楽団・混声合唱団Pange・高知大学教育学部附属小学校合唱部)の協力を得て開催した。前売り時点でチケットは完売し、会場での声やアンケートからも小さな子どものいる家族がこのような機会を強く望んでいることが窺えた。

助成：(公財)スポーツ安全協会 スポーツ活動等普及奨励助成事業

第12回高知の音楽活性化事業「木管五重奏 Quintet H コンサート」

木管五重奏団のQuintet H(クインテット アッシュ)が第1回の音楽活性化事業以来、14年振りに高知公演を行った。3日間の滞在中に小学校2校を含む高知市内の4か所のアウトリーチ活動で200人あまりと交流した。

助成：(一財)地域創造 令和5年度公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)

(4) 目標4 すそ野を拓げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

優れた芸術・文化の鑑賞機会を幅広く提供し、鑑賞者を育成するとともに、芸術・文化を理解する市民のすそ野を拓げる事業。

事業名	会場	期日	入場者	備考
SIENA WIND ORCHESTRA 高知公演 ～ブラスの祭典 シエナBESTコンサート～	項目7 文化プラザリニューアルオープン記念事業			
声優朗読劇フォアレゼン ～深淵のまなざし～「長宗我部元親」	大ホール	8.20(日)	850人	助成：文化庁
伊藤キム ソロダンス「ダミーズ」	小ホール	9.15(金)	54人	助成：地域創造 ・文化庁
	ワークショップ	小ホール 他	7.7(金)・8(土)	
クラシック・キャラバン2023 煌めくガラ・コンサート高知公演	大ホール	9.23(土・祝)	464人	協力事業
佐藤隆太一人芝居「エブリ・プリリアント・シング」	大ホール (舞台上舞台)	10.7(土)・8(日)	417人	2公演
劇団四季 こころの劇場「ジョン万次郎の夢」	県民文化ホール オレンジホール	6.26(火)	2,552人	助成：地域創造 2公演

ばぶれるりぐる「川にはとうぜんはしがある」	小ホール	6. 2. 29(木)・3. 1(金)	130人	2公演
合 計	事業数	7	4,475人	

《事 業 概 要》

声優朗読劇フォアレゼン ～深淵のまなざし～「長宗我部元親」

東田はる奈による生演奏の雅楽にのせて、高知県出身の人気声優・小野大輔と濱健人、若手実力派声優の梶原岳人、笠間淳の4人が、オリジナル脚本「長宗我部元親」を演じた。

助成：文化庁 文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業
(アートキャラバン2) 独立行政法人日本芸術文化振興会

伊藤キム ソロダンス「ダミーズ」

ちりゅう芸術創造協会(愛知県知立市)、いわてアートサポートセンター(盛岡市)、キラリ財団(埼玉県富士見市)と連携した伊藤キムの新作ソロダンス公演。声や言葉を組み入れた実験的なパフォーマンスを行った。また、7月に実施したワークショップでは、伊藤キムと参加者が出演して公演のプロモーションビデオを制作した。

助成：(一財)地域創造 地域の文化・芸術活動助成事業(連携プログラム)・

文化庁 文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業
(アートキャラバン2) 独立行政法人日本芸術文化振興会

クラシック・キャラバン2023 煌めくガラ・コンサート高知公演

日本クラシック音楽事業協会と光藍社の主催で行われたクラシックコンサートを会場運営等で協力。作曲家の池辺晋一郎の司会で、高知県出身の音楽家・谷口睦美をはじめとした出演者が15曲を演奏し、芸術の秋に相応しいプログラムとなった。

主催：(一社)日本クラシック音楽事業協会・光藍社
※ 協力事業

佐藤隆太一人芝居「エブリ・ブリリアント・シング ～ありとあらゆるステキなこと～」

令和2年2月にチケット発売後ながらやむなく中止とした公演を、本年度に実施した。大ホールの舞台上に客席と演技スペースを設け、観客は演者と同じ空間で物語の一部として作品に参加する体験型演劇作品。再演を望む声が多く聞かれた。

劇団四季 こころの劇場公演「ジョン万次郎の夢」

「こころの劇場」は、日本全国の子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクト。舞台芸術センターと劇団四季、そして、この趣旨に賛同する多くの企業や団体の協賛により、平成20年から高知市内の小学6年生を対象に学校単位での無料招待公演を実施している。本年度はかるぼーと大ホールの利用状況の都合により、高知県立県民文化ホールの共催を得てオレンジホールで実施し、41校の子どもたちが観劇した。

共催：高知県立県民文化ホール・劇団四季・(一財)舞台芸術センター

ばぶれるりぐる「川にはとうぜんはしがある」

令和2年関西演劇祭ベスト脚本賞、同年の第26回劇作家協会新人戯曲賞に続き、令和4年「日本の劇」戯曲賞2022の最優秀賞を受賞した、土佐清水出身の劇作家・竹田モモコが主宰する演劇ユニットの、家族の愛情を描いた新作を上演した。

(5) 出版事業

既刊の出版物を書店等を通じて販売。令和5年度は計12点、70冊を販売した。

(6) 広報

① 機関誌「文化高知」 年間で、No. 231(5月号)・No. 232(8月号)・No. 233(11月号)・No. 234(2月号)の4号を発行した。

② **その他の広報** かるぽーと広報「年間行事案内」や高知市広報「あかるいまち」、市役所本庁舎1階に設置された電光掲示板での告知放送やテレビ局との共催によるCM放映、新聞社への取材依頼による告知記事、地元情報誌の告知枠等を通して、各事業の周知・宣伝に努めた。また、各種SNS、Webサイトを活用し、幅広い年齢層に訴求した。

SNSサービス名	フォロワー数
X (旧Twitter)	335
Facebook	164
Instagram	330
Webサイト	*ページビュー 約 10,000 / 月

※ 令和6年3月31日現在

4 高知市文化祭事業 (高知市委託事業)

(1) 活動支援事業

高知の地域文化の質の向上と活性化のため、地域で活動している文化団体に参加を呼びかけ、助成及び活動情報の広報を行った。新型コロナウイルス感染症が感染対策等の緩やかな段階に移行したことで行事を再開する団体は増えたが、長期活動停止の余波により、解散・休止する文化団体もあった。

参加行事	助成額	備考
29件	1,598,000円	助成対象行事：26件 助成対象団体：28団体

(2) 文化祭行事 (文化祭開幕行事代替舞台公演)

4年ぶりとなる文化祭の舞台公演は、かるぽーとのホールの再オープンが7月からのため、通常の4月から10月に時期を繰り下げて実施した。2回の公演は両日ともほぼ満席になり、一般公募及び市内の文化団体等から総勢100人以上が出演した。

事業名	会場	期日	入場者	備考
第75回高知市文化祭行事 かるぽーとリニューアルオープン記念 「ミュージカル空海 ～HERO～」	大ホール	10.14(土)・15(日)	2公演 1,567人	主催：高知市文化祭執行委員会・ 高知市文化協会・ スガジャズダンススタジオ

(3) 高知市展

5月27日(土)から6月11日(日)の会期でアンデパンダン(公募・無審査)方式による絵画・書道・彫刻・写真など10部門の美術展を、会場を2年ぶりにかるぽーとに戻して開催した。出品者・出品数・イベントの参加者とも前年度を上回ったが、コロナ禍以前には及ばず、今後の参加促進が課題となった。

また、姉妹都市である北海道北見市からの美術交流作品31点を展示し、10月に行われた北見市の美術展には高知市展の作品26点を出品し美術交流を行った。

事業名	会場	期日	入場者等	備考	
第75回高知市展	ギャラリー 他	5.27(土)～6.11(日)	1,990人	出品429人/569点 北見市31点	
こどもアートまつり 「あなたダビンチ ぼくピカソ」	北5広場 中央公民館	6.4(日)	のべ3,210人	—	
講習	彫刻講習会(全身像コース)	絵画室	4.7(金)～23(日)	10人	彫刻専門部会
	彫刻講習会(頭像コース)	彫塑・陶芸室	4.19(水)～5.6(土)	7人	彫刻専門部会
	彫刻講習会(抽象コース)	彫塑・陶芸室	4.11(火)・12(水)	10人	彫刻専門部会
	「作陶体験会」	彫塑・陶芸室	4.2(日)・30(日)・5.7(日)	12人	陶芸専門部会
	「水彩画講習会」	絵画室	4.15(土)	11人	絵画専門部会

会 ・ 研 究 会 等	「書の小作品を作ろう！」	第1学習室	4.16(日)	16人	書道専門部会
	「シルクでしぼり染め」	調理室	4.16(日)	12人	工芸専門部会
	先端美術研究会「鴻池朋子さんを招いて～アーティスト・トークイベント」	第3学習室	6.11(日)	約40人	先端美術専門部会
	書道作品研究会	ギャラリー	5.28(日)・6.10(土)	約40人	書道専門部会
	アートディスカッション		6.11(日)	約15人	絵画専門部会
	写真作品研究会		6.11(日)	約20人	写真専門部会
	彫刻作品研究会		6.11(日)	約15人	彫刻専門部会
	陶芸作品研究会		6.11(日)	約15人	陶芸専門部会
	日本画作品研究会		6.11(日)	約15人	日本画専門部会
	ペン字講習会(第76回)	絵画室	11.11(土)・18(土)・25(土)	20人	ペン字専門部会
第76回高知市展ポスターデザイン募集	—	締切: 6.1.12(金)	応募75人86点	デザイン専門部会	

5 中央公民館事業(高知市委託事業)

(1) 各種講座等事業

予算等を理由とする講座数・開催回数の圧縮や、前期講座の募集時に新型コロナウイルス感染症の注意時期が重なったことから、令和3年度と比較すると、講座によっては受講者数に若干の減少が見られたが、中央公民館での講座再開を喜ぶ声は多かった。

200回の記念を迎えた市民映画会は、特別プログラムとして6作品計7回の上映と、シンガーソングライターの寺尾紗穂さんのライブ&トーク、俳優・内野聖陽さんのトークショーを開催し、新たな層に映画会を認知させることができた。

事業名		会場	期日	受講者等	備考	
高知市民の大学	93期2コース	中央公民館 各室	4.4(火)～7.21(金)	149人		
	94期2コース		10.3(火)～6.2.2(金)	95人		
いきいきセカンド☆ ライブ講座	前期2コース		4.19(水)～6.23(金)	133人		
	後期2コース		10.11(水)～6.1.24(金)	126人		
市民学校	第199回(春)全18科目		5.9(火)～7.18(火)	177人		
	第200回(秋)全22科目		9.20(水)～12.9(土)	299人		
市民講座	6科目		11.2(木)～12.16(土)	82人		
市民映画会	第200回		大ホール	9.18(月・祝)・19(火)	661人	
	第201回			11.29(水)・30(木)	229人	
	第202回			6.2.1(木)・2(金)	378人	
合計		講座数等	8講座, 54科目ほか	2,329人		

(2) 第72回高知市夏季大学

7月18日(火)から7月29日(土)の10日間開講した。かるぽーとで全席指定・座席数制限なしの初の開催となった。一日受講券は、全ての講師で完売を含め7割以上の販売数となったが、全体の受講者数は伸びなかった。興味深いテーマは多いものの、講師の知名度が当初の想定より高くなかったと分析している。また、次回以降について券種や販売方法等を検討していく。

講演日	分野	講師・演題	受講者
7.18(火)	政治・国際	ウクライナ戦争と世界のゆくえ 一日本人として何を考えるか ジャーナリスト 金平茂紀	514人
19(水)	環境・自然	土佐の大地を見る/食べる/学ぶ/詠む 静岡県立大学学長 尾池和夫	410人
20(木)	芸能・テレビ	出会いこそ、生きる力 俳優・タレント サヘル・ローズ	473人

21(金)	産業・経済	日本の現場から見る資本主義 経済思想家 齋藤 幸平	453人
22(土)	文学・歴史	富太郎と林太郎(鷗外) ー 同い年の二人が歴史に放った光ー 小説家 朝井 まかて	433人
25(火)	スポーツ	唯一無二の自己表現へ 相澤病院、信州大学特任教授・平昌五輪金メダリスト 小平 奈緒	515人
26(水)	科学・テクノロジー	iPS細胞を用いてパーキンソン病と戦う 京都大学 iPS 細胞研究所 所長・教授 高橋 淳	400人
27(木)	健康・福祉	いい塩梅をめぐるいのちの物語 ー 在宅ホスピス医からのメッセージ ふじ内科クリニック院長 内藤 いづみ	402人
28(金)	スポーツ	豊ノ島の相撲人生 タレント 豊ノ島	413人
29(土)	文学・歴史	小説家という夢 時代小説家 今村 翔吾	395人
合計			4,408人 440.8人/日

(3) 貸室事業

学習室等の貸室の状況は下表のとおり。コロナ禍の影響により減少していた利用人数、稼働率ともに回復の傾向は見られたものの、コロナ禍前の数値には届かなかった。

年度 区分	令和5年度 (対令和3年度)	令和3年度 (対令和2年度)	令和2年度 (対令和元年度)
利用人数	82,045人 (40,164人 195.9%)	41,881人 (▲14,243人 74.6%)	56,124人 (▲68,230人 45.1%)
稼働率	25.4% (6.5ポイント)	18.9% (0.3ポイント)	18.6% (▲16.2ポイント)

中央公民館稼働率を引き上げるため、中央公民館ホームページに掲載している生涯学習サークルについての周知、公民館備品の案内等の広報を見直した。コロナ禍前の令和元年度稼働率35.0%までの回復を目指していたが、25%あまりに留まった。コロナ禍でリモート会議が浸透したことや、休館中の他施設への利用者離れを取り戻しきることができなかったことが要因とされる。

6 横山隆一記念まんが館事業（高知市委託事業）

令和5年度は、1年間の休館やそれ以前の感染症対策が必要だった2年間に中止していたワークショップやイベントを本格的に再開した事業構成とし、子どもが参加する行事が実施できた。また、令和5年4月から改正博物館法が施行され、新たに博物館の事業として明記された「収蔵品のデジタルアーカイブ作成及び公開」「学芸員及び他の館員に対する専門研修の実施」「他の博物館施設・地域・異分野との連携・協力」の各事業についても計画を進めた。

(1) 観覧者等の状況

直近で開館していた令和3年度と比較すると、「企画展観覧者は常設展示も併せて利用できる」とした企画展が本年度2件あったことから、常設展の利用を促すことができた。しかし、令和3年度のような、地元テレビ局との共催によって可能となった集客力の高い企画展を開催することができなかつたため、全体として利用者が少なくなっている。インバウンド需要については、6月から9月にかけて香港からのツアーが定期的に来館するなど、456人の利用があった。

開館日数	展示室観覧者			ライブラリー利用者	合計	
	区分	常設展	企画展			小計
321日 (311日)	有料	2,158人	2,025人	4,183人	—	4,183人
	無料	3,759人	2,014人	5,773人	18,651人	24,424人
	計	5,917人 (5,383人)	4,039人 (16,210人)	9,956人 (21,593人)	18,651人 (30,008人)	28,607人 (51,601人)

※（ ）内は、令和3年度実績

(2) 企画展

大規模な企画展をリニューアルオープン記念事業として行ったため、まんが館としての通常の企画展事業は、無料で作品提供を受けられた企画展と、収蔵品展となった。収蔵作品展は、並行して資料登録を進めることを目的とした構成で行った。

また、改修工事を機に、常設展示室のある4階フロアに新たに収蔵品テーマ展示コーナーを設置した。年間に4回の展示替えて館所蔵品を紹介する展示を行った。

事業名	会場	期日	入場者	備考
「竜とそばかすの姫」展 ～高知への遺産～	項目7 文化プラザリニューアルオープン記念事業			
マンガの画材 アイシースクリーン展 —マンガ表現の相棒としての50年— ワークショップ スクリーントーンを貼ってみよう！	企画 展示室	7.15(土)～8.27(日)	1,053人	共催：株式会社 G-Too
		7.16(日)	6人	
10.7(土)～11.26(日)		846人		
12.9(土)～6.1.21(日)		391人		
6.3.16(土)～3.31(日)		389人		
超我楽多(スーパーガラクタ)展				
第19回まんがの日記念・4コマまんが大賞作品展				
まんが・漫画・マンガ展！2024				
合計	事業数	5	2,679人	ワークショップ参加者数は除く

《事業概要》

マンガの画材 アイシースクリーン展 —マンガ表現の相棒としての50年—

まんがを描くための道具「画材」のひとつ、スクリーントーン（トーン）に注目したこの展覧会では、トーン販売開始50周年を記念してまんが家から寄せられたイラストや、使用したトーンと原画と一緒に展示したほか、トーンの歴史や製造工程を紹介した。会期中に高知漫画グループくじらの会の岩神義宏さんを講師に、線画にトーンを貼ってイラストを仕上げるワークショップを開催した。

共催：株式会社 G - T o o
企画協力：明治大学 米沢嘉博記念図書館

超我楽多(スーパーガラクタ)展

横山隆一記念まんが館の収蔵庫に眠ったままになっている「もの」の中から、特に資料として分類が難しいものを中心に展示した。「もの」に焦点を当て「みる」ことを大切にするというコンセプトで、「もの」と「もの」の関係性から、横山隆一という人物の特性を浮かび上がらせる企画展となった。

収蔵品テーマ展示コーナー

新たに常設展示室横に設けた収蔵品テーマ展示コーナーでは、テーマに合わせて収蔵している様々な資料を展示した。年末から始まる期間には新年の干支をテーマにしたほか、新漫画派集団時代をテーマにした「知っておきたい 伝説の漫画家たち」では、令和7年度事業として準備を進めている国内まんが館連携巡回展「これが漫画！」展のプレ展示と位置づけ、デビュー間もない頃の隆一について紹介した。

タイトル	期 間
隆一と牧野富太郎 と 花の絵	4月 ～ 7月
まんがで高知の名物・名所 紹介	8月 ～12月
たつどしたつどし 辰年 竜年 横山 ^隆 りゅう一と ^{りゅう} 龍の絵	12月 ～ 6. 3月
知っておきたい 伝説の漫画家たち	6. 3月 ～

(3) 第19回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び作品展

45都道府県と台湾から、一般部門632人859点、ジュニア部門558人689点の計1,190人1,548点の作品が寄せられた。

部門	賞	タイトル	名前(ペンネーム)
一般部門	フクちゃん大賞	ちょっとひと休み	北原佳代子
	高知市長賞	無題	丸山健
	やなせ兎賞	今度はこの砂か…	9 2 0
	よさこい賞	救世手	岡林晃史
めまいの原因		喜久山悟	
正体		タイケヒデミ	
ジュニア部門	フクちゃん大賞	熱す	村上辰之介
	高知市長賞	—	—
	やなせ兎賞	ギトギトネーム	岡田柚葉
	よさこい賞	けいたい落ちちゃった!	岡村侑芽
人間食い		金辺冬花	
ヒーロー		堀江明人	
学 校 賞	南国市立大篠小学校 ・ 高知市立義務教育学校土佐山学舎		

(4) まんさいーこうちまんがフェスティバル2023

新しいまんが文化を高知から全国に発信するイベント「まんさいーこうちまんがフェスティバル」を11月4日(土)・5日(日)の2日間開催した。第20回となる今回は、市民ギャラリーだけでなくかるぽーと全館を使用し、大ホールでステージイベント等を行った。「よむ・かく・あそぶ」をテーマに、まんがグッズ作りや声優トークショー、小学館によ

る「コロツアー2023」などを実施。まんさいオリジナルまんがを月刊まんが雑誌「少年シリウス」12月号に掲載し、そのまんがを台本に、ステージイベントとしてゲスト声優による公開アフレコを行うなど、20回を記念した企画も実施した。イベントの企画・運営は市民参加型の実行委員会を中心に行った。

事業名	会場	期日	入場者等	
まんさい 20th -こうちまんがフェスティバル2023	ギャラリー 他	11. 4(土)・5(日)	計 5,407人 *パスポート購入 2,522人 *無料エリア利用 2,885人	
主なイベント	じもきゃらクイズラリー	ギャラリー	約400人	
	出張まんがBASE デジ&アナまんが教室	ギャラリー	115人	
	コスプレスタンプラリー	まんさい会場全体	約800人	
	コス☆ぼーと	北広場・堀川緑地	243人	
	月刊シリウス抽選会	北広場	180人	
	商店街×まんさいお買い物コラボキャンペーン	はりまや橋商店街	14人	
	金田一蓮十郎ライブドローイング	ギャラリー	30人	
	まんさい親善大使の部屋 DAY1	大ホール	427人	
	薄桜鬼15周年記念ミニイベント	大ホール	280人	
	マンサイダー6 〜ザ・ビギンズ〜 地味に公開アフレコだぜ!	大ホール	11. 5(日)	479人
	まんさい親善大使の部屋 DAY2	大ホール		641人

MEGA マン研! (まんさい関連事業)

県内在住まんが関係者によるまんがの描き方、コマ割り、ストーリーの展開の仕方などを指導するまんが教室を春と秋に開催。5月20日(土)・21日(日)は延べ17人、9月30日(土)・10月1日(日)は延べ23人の参加者であった。

こまんさい (まんさい関連事業)

例年3月に高知市中心商店街で開催される観光イベント「土佐のおきやく」に出展し、「まんさい」の告知に努める事業。令和6年3月2日(土)・3日(日)に、まんさい実行委員会のはりまや橋商店街にブースを設け、缶バッジやオリジナルペーパークラフトの作成やグッズの販売を行った。2日間で延べ21人の参加があった。

(5) まんが体験イベント

まんが文化の担い手を育てるため、子どもたちにまんがに親しんでもらう体験イベントを夏休み期間中と冬休みに実施した。11月には「お城下文化の日」イベント内で、ワークショップを実施した。放課後児童クラブへ訪問し開催するまんが体験ワークショップは、希望するクラブがなかったため実施しなかった。

また、企画展「まんが・漫画・マンガ展! 2024」の関連事業として会期中に2つの体験イベントを行った。

事業名	会場	期日	回数	参加者	備考
2023夏休みまんが体験イベント「めざせ! まんが職人」					
まんが動物園をつくろう!	まんが ライブラリー2	7. 29(土)	2回	52人	
まんがばっくんアニマルをつくろう!		7. 30(日)	2回	40人	
まんが水族館をつくろう!		8. 18(金)	2回	52人	
まんが万華鏡をつくろう!		8. 19(土)	2回	56人	
まんが風鈴をつくろう!		8. 22(火)	2回	50人	
まんが石けんをつくろう!		8. 23(水)	2回	54人	
計			12回	304人	

第7回お城下文化の日「紙風船であそぼう」	帯屋町二丁目 商店街	11. 19(日)	51人	
2023冬のまんが体験イベント 「まんがで遊ぼう！プレクリスマス」	まんが ライブラリー2	12. 23(土)	26人	
「まんが・漫画・マンガ展！2024」まんが体験イベント				
まんがの描き方入門！	まんが	6. 3. 20(水・祝)	2回	15人
ぱっくんアニマルをつくろう！	ライブラリー2	6. 3. 24(日)	2回	6人
計				21人
合 計				402人

(6) 学校教員向けの施設利用案内事業「教員のための博物館の日 in 横山隆一記念まんが館」

学校教員に博物館を知り授業や学習に役立ててもらおうきっかけづくりとして、平成20年に国立科学博物館で始まった「教員のための博物館の日」事業の「横山隆一記念まんが館」版。令和3年度に初めて実施し、今回が2回目。夏休み期間中の8月17日(木)に、前半は常設展示、特にアニメーション制作会社「おとぎプロ」に注目した解説を、後半は企画展の自由観覧、体験プログラムとして缶バッジの作成を行った。参加者からは好評価を受けたものの、前回同様、開催時期や参加呼びかけの手段に課題を残した。

共催：国立科学博物館・公益財団法人日本博物館協会

事業名	会場	期日	参加者	備考
教員のための博物館の日 in 横山隆一記念まんが館	常設 展示室 他	8. 17(木)	2人	共催：国立科学博物館・ 日本博物館協会

(7) 共同・連携事業

- ① こうちミュージアムネットワークへの参加 こうちミュージアムネットワークの幹事館として運営に携わり、総会会場の提供、広報物の作成等、事務局をサポートする業務を行った。
- ② 高知お城下文化施設の会への参加 高知市中心部(旧城下町)における新施設の開設等を機に、中心部の7つの文化施設が相互に連携・協力した活動を行うため、平成28年に発足した団体。11月19日(日)には合同イベント「第7回お城下文化の日」が開催された。まんが館は体験イベントのほか、似顔絵ブースの設置、特別展示「小(ミニ)我楽多展」の開設、来館者に企画展クリアファイルのプレゼント、お城下まちあるき企画への参加を行った。
- ③ 新聞漫画家記念館共同巡回展企画制作事業 地域創造の助成事業である、公立美術館共同巡回展企画支援事業に採択され、熊本県湯前町の湯前まんが美術館(那須良輔記念館)とともに令和6年度・7年度に各館の所蔵品で巡回展覧会を開催すべく、事業開催要件の3館目の参加館を募って全国のまんが美術館を訪問し、さいたま市立漫画会館の参加が決定した。展示方針の検討などはオンライン会議で行った。

助成：(一財)地域創造 公立美術館共同巡回展企画支援事業

(8) 資料整理事業

本来の資料整理スケジュールとは別に、早稲田大学歴史館の企画展「フクちゃん ワセダダイガクノ巻」(7月21日～10月1日)への収蔵資料約40点の貸出に伴い早稲田関係資料の登録を行ったほか、海外からも含め、調査相談などに対応して必要となった資料利用のための整理を行った。また、アニメ関連資料についても整理に取りかかった。

未整理のものも含め3,000点以上の収蔵品を展示した企画展「超我楽多(スーパーガラクタ)展」に合わせ、これらの整理を行った。公立美術館共同巡回展企画に関する戦前を中心にした高知関係資料、新漫画派集団関連資料の登録修正作業を行った。

主なレファレンスに、船橋市郷土資料館や名古屋城調査研究センターからのもの、海外からも、スイスの大学院生からの「日本のテレビアニメ先駆者」としての隆一作品についてや、アメリカから、フクちゃんの英訳本『FUKU-chan』とその出版者についてなど複数件の問い合わせが寄せられ、対応した。

(9) その他

- ① 館報「FUKU-FUKU」 84号・85号・86号を発行した。
- ② 年報 2022(令和4)年度年報を発行した。
- ③ 広報 公式ホームページ、SNS等を通じた広報活動を行った。
- ④ まんが文化に関する講演・講座 日本展示学会第42回研究大会シンポジウム(6月17日)に館長がパネリストとして参加。「地域をみせる」をテーマに、横山隆一記念まんが館について発表した。
- ⑤ 専門研修 博物館法改正によって博物館事業の一つとして挙げられている職員の専門研修として、以下の講演会の聴講や各種講座・研修に参加した。

期日	会場	名称・主催
4. 12	高知県立高知城歴史博物館	「コレクション管理の考え方と方法」
		高知県文化生活スポーツ部歴史文化財課
7. 5	文部科学省東館	令和5年度全国博物館長会議(第30回)
		文化庁、公益財団法人日本博物館協会
7. 29	オンライン	令和5年度第1回「高知県文化人材育成プログラム」
		公益財団法人高知県文化財団
9. 27・29	オンライン	令和5年度ミュージアム・トップマネジメント研修
		文化庁、国立教育政策研究所
10. 2	オンライン	令和5年度「有識者研修会」
		公益財団法人日本博物館協会
11. 30・12. 1	高知県立美術館	令和5年度文化庁委託事業 「新登録制度推進のための実施体制支援及びプロモーション活動事業」
		高知県文化財団学芸員専門研修「博物館施設等における虫歯害の防除」
12. 20・21	オンライン	公益財団法人高知県文化財団
		令和5年度文化をつなぐミュージアム研修
6. 2. 22	奈良文化財研究所	文化庁
		令和5年度研究集会「気候変動下の文化財防災」
6. 2. 29	オンライン	国立文化財機構 文化財防災センター
		令和5年度フォーラム「新登録制度の拡充による博物館の充実に向けて」
6. 3. 6～8	オンライン	公益財団法人日本博物館協会
		令和5年度「ミュージアム・PR(パブリックリレーションズ)研修」
		文化庁

7 文化プラザリニューアルオープン記念事業

(文化プラザリニューアルオープン記念事業費補助金対象事業)

長寿命化整備事業のため、令和4年度中は全館休館となっていた高知市文化プラザが、中央公民館、横山隆一記念まんが館、市民ギャラリーは令和5年4月、大・小ホールが7月に開館したことで、リニューアルオープンを記念して次の3事業を実施した。

(1) 横山隆一記念まんが館企画展「竜とそばかすの姫」展～高知への遺産～

リニューアルオープン記念を謳い、まんが館企画展示室に加えて市民ギャラリー(第3展示室)も使い、まんが館として企画展を開催した。

高知が舞台に設定され、公開時には県民を数多く動員したアニメーション映画「竜とそばかすの姫」(細田守監督・令和3年夏公開)を取り上げ、映画の制作過程紹介と、この作品が高知の人たちにどのような影響を与えたかの検証という二つのテーマを設定。アニメ制作会社・スタジオ地図の協力により、制作過程の素材や映画の動画

の一部を展示した。また、舞台となった県内各地の観光協会等に、取組・影響などを取材したものを紹介した。

協力：スタジオ地図

事業名	会場	期日	入場者	備考
「竜とそばかすの姫」展 ～高知への遺産～	企画展示室(第1会場) ギャラリー(第2会場)	4. 1(土)～5.14(日)	1,360人	協力：スタジオ地図

(2) シエナ・ウインド・オーケストラ高知公演

大ホールリニューアルの柿落としとして、国内吹奏楽のフラッグシップオーケストラとして高い人気を誇るシエナ・ウインド・オーケストラを招聘した。公演のチケットは完売し、田中祐子指揮のもと、映画音楽からクラシック、吹奏楽オリジナル作品による高知特別のプログラムを演奏した。

事業名	会場	期日	入場者等	備考
SIENA WIND ORCHESTRA 高知公演 ～プラスの祭典 シエナBESTコンサート～	大ホール	7. 1(土)	935人	
アウトリーチ	愛宕中学校吹奏楽部	6.30(金)	30人	

(3) 第7回高知市民ミュージカル「Gift of Life ～にぎやかな植物園～」

事業団制作として11年ぶりとなる市民ミュージカル公演。年齢や経験、社会的立場や障害の有無を問わず集まった90人の出演者と、それぞれの特技を活かして本公演を支える23人のサポーター、高知の舞台公演の第一線で活躍するスタッフが、7か月にわたって稽古を重ねた。

物語の舞台は、現代の植物園。牧野富太郎博士が言われたとされる「雑草という名の草はない」という言葉を、「全ての生き物には生まれてきた意味がある」と捉え、植物園のスタッフと来園者との交流や人間的成長、そして植物たちが発するエネルギーと次世代へ生命を繋いでいく大切さを描いた。

事業実施にあたり、指導者やスタッフに向け障害の特性やサポートを学ぶ講習会を開いたほか、放課後デイサービス施設での地域交流プログラムの実施、事業団主催事業として初の字幕タブレットの導入など、多様な立場の方が鑑賞できる機会を設けた。

事業名	会場	期日	入場者等	備考
「Gift of Life ～にぎやかな植物園～」	大ホール	12.16(土)・17(日)	2,002人	3公演
稽古	中央公民館 他	5.20(土)～	—	
スタッフ講習会	中央公民館	4.14(金)	18人	
ミュージカル体験ワークショップ		4.22(土)・23(日)	94人	
オーディションワークショップ		5.6(土)・7(日)	84人	
地域交流プログラム	Uプロジェクト	10.22(日)	30人	

令和5年度 決算関係書類

1. 財務諸表

(1) 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	220,706	432,086	-211,380
預貯金	52,791,000	56,086,527	-3,295,527
未収金	607,871	2,760,184	-2,152,313
前払金	45,000	0	45,000
出版物	7,751,049	7,840,742	-89,693
商品	221,353	262,327	-40,974
立替金	225,867	124,120	101,747
流動資産合計	61,862,846	67,505,986	-5,643,140
2 固定資産			
基本財産			
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
特定資産			
出版学術賞賞金資産	400,000	400,000	0
市民映画会事業資産	565,714	1,832,145	-1,266,431
まんが館事業資産	50,000	0	50,000
特定費用準備資金	4,042,000	4,000,000	42,000
特定資産合計	5,057,714	6,232,145	-1,174,431
その他の固定資産			
什器備品	85,549	142,573	-57,024
文化資料	12,016,000	12,016,000	0
その他の固定資産合計	12,101,549	12,158,573	-57,024
固定資産合計	27,159,263	28,390,718	-1,231,455
資産合計	89,022,109	95,896,704	-6,874,595
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	9,699,028	5,588,200	4,110,828
前受金	492,000	0	492,000
前受会費	0	57,000	-57,000
未払消費税	1,899,400	1,219,600	679,800
預り金	17,945,031	28,918,752	-10,973,721
流動負債合計	30,035,459	35,783,552	-5,748,093
負債合計	30,035,459	35,783,552	-5,748,093
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	10,615,714	11,832,145	-1,216,431
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(615,714)	(1,832,145)	(-1,216,431)
2 一般正味財産	48,370,936	48,281,007	89,929
(うち特定資産への充当額)	(4,442,000)	(4,400,000)	(42,000)
正味財産合計	58,986,650	60,113,152	-1,126,502
負債及び正味財産合計	89,022,109	95,896,704	-6,874,595

(2) 損益計算書 (正味財産増減計算書)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	199	200	-1
基本財産受取利息	199	200	-1
基本財産受取利息	199	200	-1
事業収益	165,727,884	117,895,553	47,832,331
文化事業収益	19,335,452	9,318,690	10,016,762
文化事業収益	18,690,850	8,910,675	9,780,175
まんが館事業収益	377,101	205,868	171,233
賛助会費収益	132,000	117,000	15,000
出版物売払収益	134,501	77,147	57,354
写真等貸出収益	1,000	8,000	-7,000
文化事業受託収益	146,392,432	108,576,863	37,815,569
高知市文化祭事業受託収益	7,098,000	8,076,347	-978,347
中央公民館事業受託収益	52,662,460	38,514,893	14,147,567
まんが館事業受託収益	44,289,674	32,822,665	11,467,009
運営受託収益	42,342,298	29,162,958	13,179,340
受取補助金等	83,176,678	65,000,488	18,176,190
受取地方公共団体補助金	69,331,078	58,033,147	11,297,931
財団管理運営補助金	5,874,208	4,461,958	1,412,250
文化事業補助金	53,490,494	44,914,922	8,575,572
文化活動等助成事業補助金	9,966,376	8,656,267	1,310,109
受取国庫助成金	5,745,600	6,000,000	-254,400
国庫助成金	5,745,600	6,000,000	-254,400
受取民間助成金	8,100,000	350,000	7,750,000
事業助成金	8,100,000	350,000	7,750,000
受取地方公共団体助成金	0	617,341	-617,341
地方公共団体助成金	0	617,341	-617,341
受取寄付金	1,266,431	0	1,266,431
文化事業寄付金	1,266,431	0	1,266,431
文化事業寄付金	0	0	0
受取寄付金振替額	1,266,431	0	1,266,431
雑収益	715,560	531,604	183,956
雑収益	715,560	531,604	183,956
運営事業雑収益	90,020	437,154	-347,134
中央公民館実習材料販売等雑収益	212,254	53,440	158,814
まんが館事業雑収益	53,834	10,430	43,404
自主事業雑収益	358,452	29,400	329,052
出版事業雑収益	0	180	-180
夏季大学雑収益	1,000	1,000	0
経常収益計	250,886,752	183,427,845	67,458,907

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	244,199,489	174,428,264	69,771,225
役員報酬	2,191,084	2,220,710	-29,626
給料	69,916,329	57,680,540	12,235,789
手当	34,484,291	29,461,481	5,022,810
福利厚生費	22,283,815	20,283,383	2,000,432
交際費	0	5,000	-5,000
食糧費	779,181	443,107	336,074
旅費交通費	4,157,108	3,518,652	638,456
通信運搬費	2,239,746	2,332,516	-92,770
減価償却費	57,024	143,108	-86,084
消耗什器備品費	218,178	229,130	-10,952
消耗品費	5,573,697	3,022,932	2,550,765
修繕費	72,888	41,299	31,589
印刷製本費	4,521,491	2,835,603	1,685,888
燃料費	87,842	120,671	-32,829
賃借料	14,454,453	9,752,951	4,701,502
広告宣伝費	1,168,540	936,716	231,824
保険料	608,685	373,296	235,389
委託費	55,562,899	27,636,974	27,925,925
諸謝金	17,644,568	5,926,249	11,718,319
租税公課	7,697,759	6,972,973	724,786
負担金	161,680	239,864	-78,184
雑費	318,231	251,109	67,122
管理費	6,597,334	7,023,628	-426,294
役員報酬	2,977,028	2,999,866	-22,838
給料	666,483	563,631	102,852
手当	614,722	853,996	-239,274
福利厚生費	879,194	1,008,083	-128,889
交際費	10,000	10,000	0
旅費交通費	105,536	176	105,360
通信運搬費	47,852	59,983	-12,131
減価償却費	0	2,003	-2,003
消耗什器備品費	695	0	695
消耗品費	105,420	94,363	11,057
修繕費	2,212	1,721	491
印刷製本費	19,292	1,045	18,247
燃料費	3,660	5,028	-1,368
賃借料	866,759	99,321	767,438
広告宣伝費	0	33,000	-33,000
保険料	76,144	75,624	520
委託費	42,808	316,518	-273,710
諸謝金	8,800	0	8,800
租税公課	83,371	816,164	-732,793
負担金	72,820	74,336	-1,516
雑費	14,538	8,770	5,768
経常費用計	250,796,823	181,451,892	69,344,931
当期経常増減額	89,929	1,975,953	-1,886,024
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	587,893	-587,893
車両運搬具除却損	0	1	-1
什器備品除却損	0	2	-2
無形固定資産除却損	0	587,890	-587,890
経常外費用計	0	587,893	-587,893
当期経常外増減額	0	-587,893	587,893
当期一般正味財産増減額	89,929	1,388,060	-1,298,131
一般正味財産期首残高	48,281,007	46,892,947	1,388,060
一般正味財産期末残高	48,370,936	48,281,007	89,929
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
受取寄付金	50,000	2	49,998
文化事業寄付金	50,000	2	49,998
文化事業寄付金	50,000	2	49,998
一般正味財産への振替額	1,266,431	0	1,266,431
当期指定正味財産増減額	-1,216,431	2	-1,216,433
指定正味財産期首残高	11,832,145	11,832,143	2
指定正味財産期末残高	10,615,714	11,832,145	-1,216,431
III 正味財産期末残高	58,986,650	60,113,152	-1,126,502

(3) 損益計算書 (正味財産増減計算書) 内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科	目	公益目的事業	法人会計	合計
I	一般正味財産増減の部			
	1 経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	0	199	199
	基本財産受取利息	0	199	199
	基本財産受取利息	0	199	199
	事業収益	165,011,878	716,006	165,727,884
	文化事業収益	18,918,761	416,691	19,335,452
	文化事業収益	18,274,159	416,691	18,690,850
	まんが館事業収益	377,101	0	377,101
	賛助会費収益	132,000	0	132,000
	出版物売払収益	134,501	0	134,501
	写真等貸出収益	1,000	0	1,000
	文化事業受託収益	146,093,117	299,315	146,392,432
	高知市文化祭事業受託収益	7,098,000	0	7,098,000
	中央公民館事業受託収益	52,662,460	0	52,662,460
	まんが館事業受託収益	44,289,674	0	44,289,674
	運営受託収益	42,042,983	299,315	42,342,298
	受取補助金等	77,302,470	5,874,208	83,176,678
	受取地方公共団体補助金	63,456,870	5,874,208	69,331,078
	財団管理運営補助金	0	5,874,208	5,874,208
	文化事業補助金	53,490,494	0	53,490,494
	文化活動等助成事業補助金	9,966,376	0	9,966,376
	受取国庫助成金	5,745,600	0	5,745,600
	国庫助成金	5,745,600	0	5,745,600
	受取民間助成金	8,100,000	0	8,100,000
	事業助成金	8,100,000	0	8,100,000
	受取寄付金	1,266,431	0	1,266,431
	文化事業寄付金	1,266,431	0	1,266,431
	受取寄付金振替額	1,266,431	0	1,266,431
	雑収益	637,230	78,330	715,560
	雑収益	637,230	78,330	715,560
	運営事業雑収益	11,690	78,330	90,020
	中央公民館実習材料販売等雑収益	212,254	0	212,254
	まんが館事業雑収益	53,834	0	53,834
	自主事業雑収益	358,452	0	358,452
	夏季大雑収益	1,000	0	1,000
	経常収益計	244,218,009	6,668,743	250,886,752

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
(2) 経常費用			
事業費	244,199,489	0	244,199,489
役員報酬	2,191,084	0	2,191,084
給料	69,916,329	0	69,916,329
手当	34,484,291	0	34,484,291
福利厚生費	22,283,815	0	22,283,815
食糧費	779,181	0	779,181
旅費交通費	4,157,108	0	4,157,108
通信運搬費	2,239,746	0	2,239,746
減価償却費	57,024	0	57,024
消耗什器備品費	218,178	0	218,178
消耗品費	5,573,697	0	5,573,697
修繕費	72,888	0	72,888
印刷製本費	4,521,491	0	4,521,491
燃料費	87,842	0	87,842
賃借料	14,454,453	0	14,454,453
広告宣伝費	1,168,540	0	1,168,540
保険料	608,685	0	608,685
委託費	55,562,899	0	55,562,899
諸謝金	17,644,568	0	17,644,568
租税公課	7,697,759	0	7,697,759
負担金	161,680	0	161,680
雑費	318,231	0	318,231
管理費	0	6,597,334	6,597,334
役員報酬	0	2,977,028	2,977,028
給料	0	666,483	666,483
手当	0	614,722	614,722
福利厚生費	0	879,194	879,194
交際費	0	10,000	10,000
旅費交通費	0	105,536	105,536
通信運搬費	0	47,852	47,852
消耗什器備品費	0	695	695
消耗品費	0	105,420	105,420
修繕費	0	2,212	2,212
印刷製本費	0	19,292	19,292
燃料費	0	3,660	3,660
賃借料	0	866,759	866,759
保険料	0	76,144	76,144
委託費	0	42,808	42,808
諸謝金	0	8,800	8,800
租税公課	0	83,371	83,371
負担金	0	72,820	72,820
雑費	0	14,538	14,538
経常費用計	244,199,489	6,597,334	250,796,823
当期経常増減額	18,520	71,409	89,929
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			89,929
一般正味財産期首残高			48,281,007
一般正味財産期末残高			48,370,936
II 指定正味財産増減の部			0
受取寄付金	50,000	0	50,000
文化事業寄付金	50,000	0	50,000
文化事業寄付金	50,000	0	50,000
一般正味財産への振替額	1,266,431	0	1,266,431
当期指定正味財産増減額	-1,216,431	0	-1,216,431
指定正味財産期首残高			11,832,145
指定正味財産期末残高			10,615,714
III 正味財産期末残高			58,986,650

2 財務諸表に対する注記

- 1 重要な会計方針
- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別法による原価法をとっております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
車両運搬具及び什器備品…定率法によっております。
無形固定資産
定額法によっております。なお、ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づき定額法によっております。
- (3) リース会計基準適用初年度開始前及び重要性の乏しいリース取引
引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用しております。
所有権移転外ファイナンスリースの内容及びその残高は、次のとおりであります。
大判プリンターの賃貸借契約(契約期間2020.10.1～2025.9.30)残額99,000円
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

- 2 会計方針の変更
該当事項はありません。

- 3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。
(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
出版学術賞資金資産	400,000	0	0	400,000
市民映画会事業資産	1,832,145	0	1,266,431	565,714
まんが館事業資産	0	50,000	0	50,000
特定費用準備資金	4,000,000	42,000	0	4,042,000
小計	6,232,145	92,000	1,266,431	5,057,714
合計	16,232,145	92,000	1,266,431	15,057,714

- 4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。
特定費用準備資金として、42,000円を積み立てました。
(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
小計	10,000,000	(10,000,000)	—	—
特定資産				
出版学術賞資金資産	400,000	—	(400,000)	—
市民映画会事業資産	565,714	(565,714)	—	—
まんが館事業資産	50,000	(50,000)	—	—
特定費用準備資金	4,042,000	—	(4,042,000)	—
小計	5,057,714	(615,714)	(4,442,000)	—
合計	15,057,714	(10,615,714)	(4,442,000)	—

- 5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
直接法により減価償却を行っている
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。
(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	4,720,226	4,634,677	85,549
合計	4,720,226	4,634,677	85,549

- 6 債権の債権金額, 貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額, 貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は, 次のとおり
であります。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末 残高
未収金	607,871	0	607,871
合 計	607,871	0	607,871

- 7 補助金等の内訳並びに交付者, 当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者, 当期の増減額及び残高は, 次のとおりであります。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
運営費補助金	高知市	0	5,874,208	5,874,208	0	—
事業費補助金	高知市	2,375,000	63,456,870	65,831,870	0	—
国庫助成金	文化庁	0	5,745,600	5,745,600	0	—
民間助成金	公益財団法人スポーツ安全協会	0	500,000	500,000	0	—
民間助成金	一般財団法人 地域創造	0	7,600,000	7,600,000	0	—
合 計		2,375,000	83,176,678	85,551,678	0	

- 8 関連当事者との取引の内容
該当事項はありません。

- 9 重要な後発事象
該当事項はありません。

3 附属明細書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

- 1 有形固定資産及び無形固定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載

4 財 産 目 録

令和 6 年 3 月 31 日 現 在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
	現 金	手元保管	運転資金として	220,706	
	預 貯 金	普通預金			
		四国銀行高知市役所支店	運転資金として	41,884,383	
		四国銀行高知市役所支店	公民館使用料等預かり口座	865,025	
		ゆうちょ銀行 郵便振替	賛助会費等受入口座	41,592	
	定期預金	高知銀行県庁支店	運転資金(財産運用)として	10,000,000	
		未 収 金	事業補助金収入, 助成金収入ほか	607,871	
	前 払 金	まんが館図書カード	45,000		
商 品	公益目的保有財産であり, 公益目的事業として販売している。	7,751,049			
立 替 金	高知市文化振興課の電話機器使用料の立替払いほか	221,353			
			225,867		
流動資産合計				61,862,846	
(固定資産)					
基本財産	預 金	定期預金			
		四国銀行高知市役所支店	基本財産として	10,000,000	
特定資産	預 金	普通預金			
		四国銀行高知市役所支店	高知出版学術賞特別賞賞金の資金として保有	400,000	
			市民映画会事業の資金として保有	565,714	
			まんが館事業の資金として保有	50,000	
			特定費用準備資金として保有	4,042,000	
その他の固定資産	什 器 備 品		共用財産として保有	85,549	
	文 化 資 料	75点	公益目的保有財産であり, 公益目的事業に供している。	12,016,000	
固定資産合計				27,159,263	
資 産 合 計				89,022,109	
(流動負債)					
	未 払 金		令和5年度事業費及び管理費未払い金	9,699,028	
	前 受 金		令和6年度事業収入	492,000	
	未払消費税		令和5年度確定納付	1,899,400	
	預 り 金		中央公民館使用料、高知市返還金及び社会保険料預り金等	17,945,031	
流動負債合計				30,035,459	
負 債 合 計				30,035,459	
正 味 財 産				58,986,650	

監査報告書

令和6年5月14日

公益財団法人高知市文化振興事業団

理事長 脇口 宏 様

監事 吉田 佳史 ㊟

監事 植田 浩二 ㊟

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類[貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)]及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上